

連載

- 10 世界のキーパーソン
- 11 国内人情情報
- 27 Book Reviewing Globe
- 40 追想 バレレンの世紀―渡辺京二
- 51 西風
- 59 交差点―読者の声・編集者の声



かつて蜜月だった自民党が公明党と連立を組み裏切り。反創価学会を軸とし、平和憲法護持を掲げる新宗連は、主力の立正佼成会を中心に集票力で民進党を支える。参院選に向け、政治の裏の宗教戦争が過熱する。(110頁)

- 98 社会・文化 ● 情報カプセル
- 100 気象庁が「殺した熊本被災者」
- 102 防げるガンで死ぬ日本人―ワクチンで救える命を見殺しに
- 104 日本のソムリエは「田舎つべ」ばかり―時代錯誤のフランスワイン至上主義
- 106 米国で認知症患者が「減少中」
- 108 税逃れ指南役「は国税OBだらけ」―「パナマ」だけでない租税回避の横行
- 110 新日本宗教団体連合会―反創価学会「宗教戦争」の現状

- 88 皇室の風―岩井克己
- 90 日本の科学アラカルト
- 92 美の艶話―安村敏信
- 94 本に遇う―河谷史夫
- 96 誤審のスポーツ史―中村計
- 114 マスコミ業界ばなし

● 写真提供/PANA 共同通信社 朝日新聞社 毎日新聞社 産経新聞社 など

主要国から「孤立」する中国

世界の先頭に立てない「異質な大国」

- 6 特別レポート
- 12 米国こそ世界最大の「租税回避地」
- 16 米政界に蔓延る「軍」情報複合体―安保政策の主題は「サイバー」に
- 18 WORLD ● 情報カプセル
- 22 米国はサウジアラビアを見放すのか―よろめくスンニ派盟主の「命運」
- 24 ブラジル「弾劾劇」闇の首謀者たち―石油利権狙う米国の「露骨な策謀」
- 28 マレーシア「空前の金融犯罪」の裏側―政府ファンドを喰い物にした悪党たち
- 30 ASEANで変わる「産業地政学」
- 34 八方ふさがりの北朝鮮
- 36 勢いづいた「習近平降ろし」

日米欧とは根本的に価値観を異にする「一国例外主義」。通商交渉も領土問題も、国際法に従わない「法治の欠如」が関係国との溝を深める。責任感なき大国に湧き上がる「異質論」。中国は「世界の孤児」となる。(6頁)



3 連載(巻頭インタビュー)マーティン・フェルドシュタイン―米國経済は統計以上に「盤石」だ



中曽根「死んだふり解散」の再現か。地震後の「同日選見送り」報道で、奇襲のチャンス到来。補正予算を急ぎ、「震災対応に目鼻を付けて、日程を確保する」と首相側近は語る。民意の反発が和らげば、安倍はやる。(48頁)

- 42 連載(土着権力の研究)
- 山口県ナルキ(旧畑原建設)―土建利権で潤う(安倍直系)企業
- 44 政治 ● 情報カプセル
- 46 「万年野党」に成り下がる民進党―共産党「選挙協力」の重い副作用
- 48 それでも消えない「衆参同日選」
- 52 連載(政界スキヤン)官邸「メディア圧力」を演出する業師
- 54 「NHK榊井」が捨て身の大暴れ
- 56 「伏魔殿」と化するGPIF
- 58 連載(罪深きは「無責任官僚」の巣)
- 田中豊(金融庁法令等遵守調査室室長)―公益通報を握り潰した「元判事」

- 60 もう要らない「電気事業連合会」―中部電力が会長で「空中分解」へ
- 62 三菱UFJは「まだ」女性役員ゼロ―トクバンクで続く「蔑視と差別」
- 64 不正だらけの「イオン金融事業」
- 67 連載(クローズアップ)
- 相川哲郎(三菱自動車社長)―重犯企業「事業終了」のおくり人
- 68 連載(企業研究)セブン&アイHD―カリスマ追放で山積した「経営難題」
- 72 東京電力「社長人事」で醜い内紛
- 74 経済 ● 情報カプセル
- 78 連載(経営者東京裁判)柳井正(ユニクロ会長兼社長)―「客離れ」急失速を招いた張本人
- 80 トヨタに「復讐する」テスラ―北米で電気自動車の「猛攻」始まる
- 82 楽天「三木谷経営」のどん詰まり―国内でも海外でも限界露わ
- 84 「死んだふり」の三菱商事

コンビニと金融への収益依存度は97%で、他の事業は利益の出ないお荷物ばかり。歪んだ収益構造こそ真の危機だ。鈴木追放ではしゃぐ新社長に、病巣摘出は可能なのか。「物言う株主」は虎視眈眈、次を狙う。(68頁)

